

# 第2回国際障害者ピアノフェスティバル

(前ピアノパラリンピック)

開催: 2009年9月30(水)~10月4日(日)

会場: カナダ バンクーバー市

1) クライストチャーチ カテドラル

2) ブリティッシュコロンビア大学チャンセンターホール

主催: NPO 日本障害者ピアノ指導者研究会(IPD)

## 開催趣旨

国際障害者ピアノフェスティバルは、全世界の「不可能を可能にする人たち」によるピアノ音楽の祭典です。今あるあなたの体の機能を最大限に生かし、あなたの持つ豊かな音楽を、ピアノを通して表現してください。その感動を聴衆と共に分かち合いましょう。あのベートーベンも聴覚障害のなかで、素晴らしい音楽の遺産を私達のために残しました。第一次世界大戦で右手を失ったピアニスト、パウル・ヴィトゲンシュタインは「左手のピアニスト」として生まれ変わり、大ピアニストとして音楽史に名を残しました。更に視覚障害だった日本の「琴」の名手、宮城道雄は日本伝統音楽の代名詞ともいえるでしょう。たとえ全身麻痺でも、たった一本だけ動く人差し指で鳴らされる魂のこもったピアノの音、片手だけで工夫して鮮やかに演奏される技、繊細な体感感覚を駆使して演奏する聴覚障害ピアニスト等、今まで気付かなかった、様々なアイデアがいっぱい詰まった音楽の祭典にしたいのです。人の能力の可能性は計り知れないものです。これは単にその優劣を競うものではなく、音楽を通してそれぞれの特技を賞し、今後の私たちのより豊かな人生への励みと、国際交流を通して、世界の平和のために貢献することを目指したいと思います。

## 目的

1) 障害に対する正しい理解を深めること。2) 同じ問題を持つもの同士(カテゴリー)意見の励まし合い、学び交歓する。3) 全く新しい試みである事を認識し、常に創造力の涵養を忘れない。4) 新たな才能を発掘し、成長を支援する。5) 良き指導者を育成し、人材情報の集約、提供を促進する。6) 個性を尊重し、それぞれの国の文化を、音楽を通して学ぶ。7) 経験から学んだ成果を社会に還元する。8) 一堂に会し、お互いの成果を発表する機会として「国際障害者ピアノフェスティバル(前ピアノパラリンピック)」を支援する。9) 世界へ目を開き、全てが平和の中にしか存在し得ないことを忘れない。